

# 老年心理学

～2017

科目コード

FD2517



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
4	R or SR(講義)	1年以上	吉川 悠貴

※2017年度以前に入学した方が対象の科目です。2018年度以降に入学した方は履修登録できません。

※「老年心理学A」「老年心理学B」の2科目の内容を学ぶため、下記記載の「■講義内容」「■レポート課題」「■アドバイス」以外の項目は、p.153「老年心理学A」（科目コード：FD2544、2単位、履修方法：RorSR）とp.158「老年心理学B」（科目コード：FD2545、2単位、履修方法：RorSR）の2科目をあわせて参照してください。

※2021年度より、「老年心理学A・B」のスクーリングを16コマ受講する必要があります。スクーリング試験も2回行います。

※この科目は2022年度まで開講します。レポート提出、スクーリング受講、科目修了試験受験は2022年度まで可能です（履修登録は2021年11月20日まで可能）。

## スクーリング

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	加齢の考え方と高齢期の捉え方	加齢と高齢期を捉えるための諸概念と現状
2	加齢と身体的変化	加齢に伴って生じる身体やその機能の変化と心理
3	情報処理機能の変化	加齢と感覚・知覚・認知諸機能の変化
4	記憶機能とその変化	加齢と記憶機能の変化
5	知能とその変化	加齢と知能、言語機能等の変化と研究方法
6	高齢期における適応Ⅰ	高齢期の適応と生涯発達及び環境変化等の影響要因
7	高齢期における適応Ⅱ	高齢期の適応とパーソナリティ
8	人生の最終段階	高齢期と死の問題及び現代的課題
9	スクーリング試験	
10	認知症の基礎知識Ⅰ	認知症を取り巻く現状、捉え方や制度・施策の変遷
11	認知症の基礎知識Ⅱ	軽度認知障害、予防を含む概念・知見の理解
12	認知症の基礎知識Ⅲ	認知症の原因疾患、及び症状の理解と評価
13	認知症の心理とケアⅠ	中核症状と本人の心理、及びケアの原則
14	認知症の心理とケアⅡ	行動・心理症状と本人の心理、及びアセスメント
15	認知症の心理とケアⅢ	本人及び専門職の心理を踏まえた権利擁護

回数	テーマ	内容
16	介護者の心理と支援	介護者の心理と危機、及び支援のあり方
17	関連課題	セルフ・ネグレクト、意思決定支援等の関連課題
18	スクーリング試験	

## レポート学習

### ■レポート課題

1 単位め	高齢期（老年期）と呼ばれる時期がどのように捉えられるかについて、「生涯発達」および「心理的な適応」の観点から、これまで示されてきた考え方を整理した上であなたの考えを述べなさい。
2 単位め	認知症の症状について、中核症状と行動・心理症状という観点から整理した上で、症状の出現に影響する要因について具体的に示しなさい。
3 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください（Web解答可）。
4 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください（Web解答可）。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

（2017年度以前履修登録者）2018年4月よりレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2017』記載の課題での提出は2019年9月で締め切りました。ただし、『レポート課題集2017』記載の4単位めの論述式課題に合格した方は、2単位めの課題は『レポート課題集2017』の課題で提出してください。

### ■アドバイス

#### 1単位め アドバイス

教科書第1章第1節・第6節、第2章第1節、第3章第5節・第6節、及び第4章を中心に読み、高齢期が人間の生涯の中でどのように位置づけられるかについてまとめていきます。その際、「生涯発達」や心理過程としての「適応」という観点から教科書等で示されている考え方を整理した上で、自分の考えを述べるようにしてください。「適応」については、サクセスフルエイジング等の考え方をよく検討してください。具体的な例や現代社会の状況等を示しながら説明できると、なおよいでしょう。

なお、レポート課題全般にいえることですが、単に教科書を要約するだけではなく、それをどのような構成でまとめるか、さらにそれを踏まえて自分の考えをどのように述べていくか、ということ意識して作成してください。教科書の内容をまとめただけ、自分の意見を述べただけ、のどちらの場合も、レポートとしては十分とはいえません。また、レポートの最後に参考にした（引用した）文献を一覧にして掲載し、レポート本文中の引用箇所文献番号を記載してください。

#### 2単位め アドバイス

教科書の第1章第2節・第3節・第6節を中心によく読み、第2章なども参考にしながらまとめてください。単に症状や影響要因を列記するのではなく、中核症状と行動・心理症状（周辺症状）という区分を理解した上で、影響しうる要因がどのように作用し、どのように

症状があらわれるのかを説明してください。特に、中核症状がある状態から、どのようにして行動・心理症状があらわれるのか、という観点や、本人の心理的なプロセスを重視してください。具体的な例などを示しながら説明できると、なおよいでしょう。

なお、レポート課題全般にいえることですが、単に教科書を要約するだけではなく、それをどのような構成でまとめるか、さらにそれを踏まえて自分の考えをどのように述べていくか、ということ意識して作成してください。教科書の内容をまとめただけ、自分の意見を述べただけ、のどちらの場合も、レポートとしては十分とはいえません。また、レポートの最後に参考にした（引用した）文献を一覧にして掲載し、レポート本文中の引用箇所文献番号に記載してください。

3・4単位め  
アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFUオンデマンド」上で解答することも可能です。